



令和7年度

清水小学校の教育

《診断編》

《学校教育目標》

心身ともに健康で 未来に生きる高い知性と豊かな心情と強い意志を培い 主体的に行動できる子どもを育てる
～かしこく やさしく たくましく～

《めざす児童像》

- 進んで学ぶ子ども
- 美しい心を持つ子ども
- おわりまでやりぬく子ども
- 体をきたえる子ども
- みんなと力を合わせる子ども

子どもたちが笑顔で登校、
進んで学び、
笑顔で下校する学校

楽しい学校とな
っているのか？

学校は楽しいですか

	とても楽しい	楽しい	あまり楽しくない	全然楽しくない	肯定的回答
R07.07 児童	52.5%	38.1%	7.0%	2.4%	90.6%
R07.12 児童	44.1%	46.1%	8.2%	1.6%	90.2%

大きな変化はありませんが、1割(25人)の児童が否定的回答をしており、友人関係やその子の居場所等を整えることが大切と考えます。

しっかりと学ぶ ～かしこく～

ウェルビーイング並びに学校評価アンケートから「学び」について

ウェルビーイングアンケート (全校・国・算)

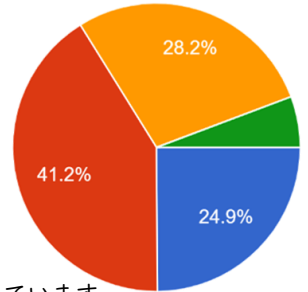
	国語の勉強は好きですか	国語の授業内容はよくわかりますか	算数の勉強は好きですか	算数の授業内容はよくわかりますか
R07.10	74.0%	83.2%	75.5%	81.8%
R08.01	74.8%	84.7%	78.5%	84.1%

3 じゅぎょうちゅう、じぶんのかんがえを はっぴょうしていますか
245件の回答

発表については66.1%の

児童が肯定的回答(R07.12)

- ①よくはっぴょうしている
- ②だいたいはっぴょうしている
- ③あまりはっぴょうしていない
- ④ぜんぜんはっぴょうしていない



※R07.12 実施の学校評価アンケート「学校の勉強はわかりますか」には91.8%の児童が肯定的な回答をしています。

学校評価の教科を絞らない「勉強はよく分かる」の設定では肯定的な回答をした児童は約92%となっています。主要教科に絞ったウェルビーイングアンケートでは、徐々に上昇していますが84%程度。「わかる」と「好き」には10%程度の開きがあり、分かれば好きになるという簡単な話ではないようです。しかし、「好きだからがんばれる」「よく分かるから楽しい」といった思いには留意し、引き続き努力して参ります。また、児童の主体性について「自分の考えを発表している」と回答した児童は66%、「子ども達が自分の考えを発表する授業づくりをした」と回答した教職員は、82.3%でした。昨年在95%であったことから、より児童が思考・判断し、表現できる「個別最適で協働的な学び」を大切にしていきたいと思ひます。

みんな笑顔 ～やさしく～

学校評価アンケートから「安心・安全」「信頼・豊かな人間性」について

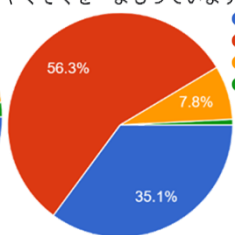
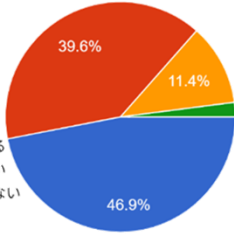
子どもを信頼し、信頼される教職員

8 すすんで あいさつしていますか 5 がっこうのきまりや せんせいとの やくそくを まもっていますか

4 せんせいは、あなたのはなしを きいてくれますか

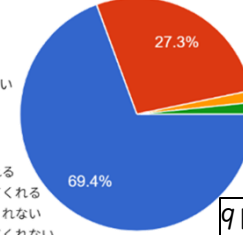
245件の回答
86.5%

- ①よくしている
- ②だいたいしている
- ③あまりしていない
- ④ぜんぜんしていない



96.7%

- ①よくきいてくれる
- ②だいたいきいてくれる
- ③あまりきいてくれない
- ④ぜんぜんきいてくれない

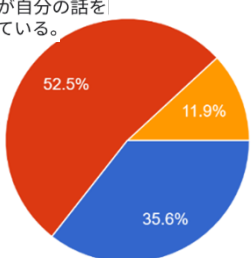


91.4%

4 お子さんは、先生が自分の話を聞いてくれると言っている。

- ①よくできている
- ②だいたいできている
- ③あまりできていない
- ④ほとんどできていない

88.1%

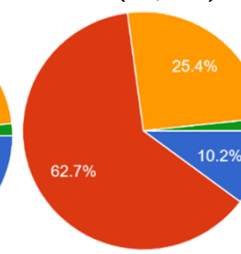
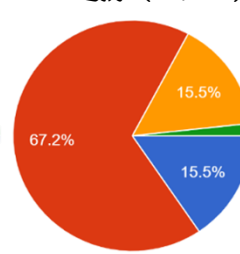
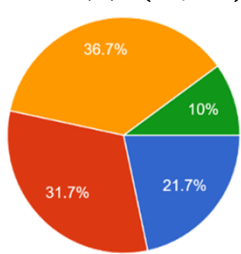
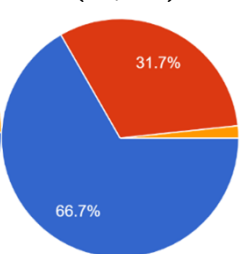
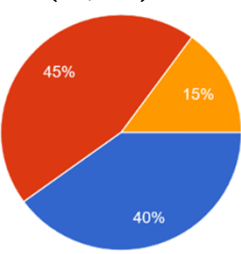


ずっと元気 ～たくましく～

全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、8種目中、男子が握力、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げの6種目で、女子は握力、上体起こし、反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げの6種目で全国の数値を上回っています。

学校評価アンケート(保護者の数値)

- ①早寝・早起き声かけ (85.0%)
- ②毎日の朝ごはん (98.4%)
- ③毎日運動できる環境づくり (53.4%)
- ④幼保小中高の連携 (82.7%)
- ⑤CSを核とした地域連携 (72.9%)



- ①よくできている
- ②だいたいできている
- ③あまりできていない
- ④ほとんどできていない

⑥働き方改革 (55.6%)

挨拶は1学期を重点期間にしましたが、結果は良くありませんでした。再度2学期も挨拶をポイントに掲げ取り組むことで、様々な会議などで児童のあいさつについてお褒めをいただきました。ルールを守るというポイントはできていなかったため、3学期は「ルールを守るとは自分やみんなへの思いやり」という話をしました。廊下歩行など、児童にも意識されるようになってきました。児童との関係作りは、「傾聴」が基本と考えています。今後も児童の声を聞いていきたいと考えています。面談週間をきっかけに児童の実態に沿って進んで声を聞けるように努めていきます。

チームしみずっ子～ウェルビーイングの向上をめざして